

剣道少年団研修会 人で体験発表

(洞爺湖武道館・虻田小学校6年)

青沼莉穂さん

全 日本剣道道場連盟が主催する、第34回北海道地区剣道少年団研修会体験発表会の発表者に出されました。

題名は「剣道と私」。小学校4年生から始めた剣道との出会いから、今後の抱負までを書いた作文を、全道の剣士の前で披露します。



ただ作文の最後に記した「先生に言われたことを忘れず、強くなりた」との言葉が、素直な胸の内を表しているように思えます。

最初は弟が習っていた剣道ですが、まわりの勧めもあり、練習に参加するようになりました。今年の第52回伊達地方防犯少年剣道大会では、個人戦小学生高学年女子の部で優勝を果たすなど、実力もだんだんと備わってきています。

「日頃から教えてもらった技がうまくいった」と謙虚に話しますが、大会関係者は「感が鋭く、相手が出てくる瞬間を打つのがうまい。筋がいい」と語ります。

小学校卒業後の将来の話になると、「ずっと続けるかどうかはわかりません」と剣道にこだわらないそぶりをみせる一方「中学生で初段だけは取っておきたい」と複雑な心境をのぞかせます。

剣道の楽しさや奥の深さを知るのは、これからかもしれません。

第1回まちづくり審議会開催 町民皆さんの意見募集

の期間は、1月23日～2月7日まで。町のホームページまたは企画防災課(☎74・3004)までお願いします。

正副会長以外の委員は次の通り。
(敬称略)

策

定から5年経過した洞爺湖町まちづくり総合計画(平成19年～28年)の見直しに向けて、意見をいただくための洞爺湖町まちづくり審議会が、12月19日開かれました。

初会合では、真屋町長から各委員に委嘱状が交付され、会長には佐藤安弘さん(洞爺湖自治会連合会洞爺地区連合会)、副会長には福島浩二さん(いぶり噴火湾漁業協同組合)が選任されました。事務局からは、町の

現状や今後の議事の進め方が説明され、具体的な内容の審議は、次回の第2回会議からなることが確認されました。

町では、この審議会で、幅広く町民の意見を聞くために、町民皆さんから多くの意見を募集(パブリックコメント)することにしました。

基本計画修正案(素案)は、町のホームページまたは企画防災課窓口で確認することができます。意見募集及び素案の閲覧

- ▽委員 中村喜一(洞爺湖町自治会連合会 虻田地区連合会)
- ▽丹野幸尋(洞爺湖町社会福祉協議会)▽岡田晋平(洞爺湖温泉観光協会)▽稲實邦章(洞爺まちづくり観光協会)▽大西敏一(とうや湖農業協同組合)▽五十嵐篤雄(洞爺湖町商工会)
- ▽福井政吉(学識経験者)▽上名耕司(同)▽藤川梅市(公募委員)▽山浦和好(同)▽鈴木偉克(同)▽高尾桂子(同)

栄2遺跡で住居跡、盛土遺構確認

町内栄町で、道道拡幅工事に伴って進めていた「栄2遺跡」の調査が12月26日に終了しました。

噴火湾の東部地域で珍しい、縄文後期中ごろの「鯨間(ほっけま)式期」(約3500年前)の竪穴住居跡や盛土遺構などが見つかりました。

盛土遺構からは、日常使われる土器のほか、特殊な形をした注口土器なども見つかりました。

教育委員会では、「意識的なもので、単なる土器捨て場所ではなく、アイヌ文化に見られる神聖な『物送り場』的なものではないか」と説明しています。



住居跡、盛土遺構が確認された栄2遺跡